



ふれあい スポーツ

発行
 一般社団法人
 滋賀県障害者スポーツ協会
 〒520-0807 大津市松本1-2-20
 滋賀県農業教育情報センター5階
 ☎ 077-522-6000
 FAX 077-521-8118
 E-mail info@shigassk.net
 URL http://www.shigassk.net

第23回全国障害者スポーツ大会

10月26日～28日
佐賀県

令和6年10月26日から28日の3日間にわたり、「新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。」の「スローガンのもとSAGAサンライズパーク陸上競技場(SAGAスタジアム)を中心に、第23回全国障害者



開会式での滋賀県選手団 (10月26日 SAGAサンライズパークSAGAスタジアム)

者スポーツ大会「SAGA 2024全障スポ」が開催されました。

滋賀県からは個人競技41名、団体競技12名の計53名選手が出場し、来年の滋賀大会に向けて選手たちは素晴らしい活躍を見せました。

昨年(2023)の鹿兒島大会に続き九州での開催となり、開会式では若干雨に見舞われたものの、その後は天候にも恵まれ、10月末としては暖かい気候のもと、選手たちは日ごろの練習の成果を充分に発揮することができました。陸上競技では米谷葵選手が50m競走で大会新を出した他、4×100mリレーでも滋賀県チームの記録を塗り替える事が出来ました。また水泳の木内克哉選手が25mバタフライで大会新を樹立するなど好記録が続出しました。

一方、2年ぶりの出場となった団体競技のグラウンドソフトボールは1回戦を突破することが出来ず涙を飲みましたが、結果として金19個、銀16個、銅12個と2個の大会新記録があり、メダル総数では過去最高の成績を挙げることができました。

来年はいよいよ地元滋賀県で第24回全国障害者スポーツ大会(わたSHIGA輝く国スポ・障スポ)を、「湖国の感動未来へつなぐ」の「スローガンのもと、10月25日から27日までの3日間にわたり、平和堂HATOスタジアムを主会場として開催します。

滋賀県チーム活躍のために応援を宜しくお願いします。

第23回全国障害者スポーツ大会 滋賀県代表選手 成績表

競技名	選手名	種目	記録	順位	備考
陸上競技	内山 晴貴	200m	25秒13	3	自己新
	100m	12秒18	3	自己新	
	大西 努	立幅跳	1m84	1	自己新
	50m	8秒56	1	自己新	
	小倉 勇希	800m	2分24秒20	7	自己新
	立幅跳	2m51	3	自己新	
	片岡 翼	立幅跳	2m57	1	
	100m	12秒41	4		
	金塚 雅章	走幅跳	3m88	1	
	100m	15秒19	1		
	川岸 駿	200m	24秒49	1	自己新
	100m	12秒10	2		
	菊永 翔太	200m	23秒92	1	
	100m	11秒61	2		
	小関 琉誠	100m	12秒03	2	
	1500m	記録なし	-	-	
	高橋 有咲	800m	5分41秒05	2	
	800m	2分43秒71	2		
	服部 周恩	200m	37秒70	1	
	100m	19秒42	1		
林 瑞妃	200m	29秒76	2		
100m	14秒08	2			
福島 佑弥	800m	2分06秒47	2		
1500m	4分32秒51	2			
米谷 葵	50m	9秒73	1	大会新	
総丸投	5m37	1			
渡辺 空馬	200m	22秒79	2		
100m	11秒08	1			
林 瑞妃・内山晴貴 菊永翔太・渡辺空馬	4×100mリレー (男女混合)	47秒10	1	自己新	
水泳	木内 克哉	25mバタフライ	12秒03	1	自己新・大会新
	50mバタフライ	26秒39	1		
	小嶋美菜代	25m平泳ぎ	19秒51	3	
	50m平泳ぎ	41秒60	4	自己新	
	谷口 美奈	25m自由形	19秒43	5	自己新
	25m背泳ぎ	20秒20	4	自己新	
	矢野 智孝	25m自由形	19秒88	2	自己新
50m自由形	46秒62	2	自己新		
アーチェリー	伊藤 晋次	CP30mWラウンド	580	6	

競技名	選手名	種目	記録	順位	備考
卓球	阿部 亮介	サウンドテーブルテニス	2-3	3	
	磯崎 浩美	一般卓球	0-3	3	
	大角 兼一	一般卓球	1-3	2	
	北川さよ子	サウンドテーブルテニス	1-3	2	
	嶋村 彩	一般卓球	3-0	1	
	杉立 重信	一般卓球	3-0	3	
	田淵 瑛介	一般卓球	0-3	3	
	中川 竜輝	一般卓球	0-3	2	
	尾岡 直城	アキュラシー(7m)	4	5	
	酒井 利和	(ディスタンス) 立位	57m64	2	
フライング ディスク	住友 隼城	アキュラシー(5m)	8	4	
	田中 遼	(ディスタンス) 立位	41m19	6	
	辻村 定好	アキュラシー(7m)	8	1	
	福島 義人	(ディスタンス) 立位	50m98	1	
	福島 義人	アキュラシー(5m)	7	5	
	辻村 定好	(ディスタンス) 立位	43m07	3	自己新
	福島 義人	アキュラシー(5m)	7	6	
ポッチャ	江川 拓馬	ポッチャ	110/100	5	
	安井 駿一	ポッチャ	100/135 T445	4	
	上林 悟志	ポッチャ	98/109	5	
	岸本 和明	ポッチャ	145/104 T444	4	
ボウリング	杉本 宏美	ボウリング	145/145	5	
	野元 栄作	ボウリング	156/145 T591	5	
	野元 栄作	ボウリング	193/222	3	自己新
	野元 栄作	ボウリング	215/156 T786	3	自己新

金	19	銀	16	銅	12	計	47
大会新	2	自己新	13				

● 滋賀県 0×13 福岡県 ○	1 回戦
● 滋賀県 0×14 神奈川県 ○	交流戦

令和5年度一般社団法人滋賀県障害者スポーツ協会事業実績

第24回全国障害者スポーツ大会「わたしが輝く障害スポ」を2年後に控え、令和5年度には、多くの滋賀大会強化指定選手を指定し、選手の確保・育成・強化を進めた。また、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、県大会をはじめ協会のすべての事業を予定通り実施することができた。

【4 全国大会出場選手強化練習会・候補・育成選手合同練習会等】

①個人競技
▽全国大会出場選手・滋賀大会強化指定選手合同練習会
① 4月29・30日 平和堂HATOスタジアム他
② 5月27・28日※合宿 平和堂HATOスタジアム他
▽候補選手、滋賀大会強化指定選手合同記録会、選考記録会
① 1月13・20・21日 皇子山陸上競技場他
② 2月10・11・17・18日 皇子山陸上競技場他
③ 3月9・16日 皇子山陸上競技場他

【5 特別全国大会選手団派遣】

特別全国障害者スポーツ大会 燃ゆる感動かごしま大会は、10月28日から30日までの3日間、鹿児島県で開催され、滋賀県選手団65人は、素晴らしい成績をあげました。

【6 障害者スポーツコーディネーターの設置】

障害者スポーツコーディネーターが、障害者の支援施設や雇用企業等を訪問し、協会事業の情報提供を行い、県大会への参加を呼びかけるなど障害者スポーツの普及を図った。
訪問箇所 働き暮らし応援センター等延べ35か所

【7 協会会員交流ボウリング大会の開催】

① 8月17日 ラピエタボウル(彦根市) 参加者数 46人
② 12月9日 ラウンドワン(大津市) 参加者数 41人

【8 顕彰事業】

滋賀県障害者スポーツ協会会長表彰を次の者に授与した。(功労賞)
藤川 進さん
成田 初美さん
脇 眞澄さん
(優秀指導者賞)
植主 未佳さん
小杉 秀行さん
福島 孝基さん
(パラリンピック等特別賞)
内海 優さん

【9 国際大会祝い金】

国際大会に出場した者に

【10 障害者スポーツ啓発事業】

対して祝い金を贈呈
滋賀県ゆかりのアスリート延べ14人に対し支給した。
(1)競技用具、展示用パネル、障害者スポーツ啓発のCDや図書、ルールブック等の貸し出しを行った。
(2)会員募集チラシの作成
(3)ホームページやフェイスブックによる発信
HP年間訪問者数 9,928件

【11 会報等の発行】

会報の発行 (各2,800部)
②強化指定クラブ補助
2025年全国障害者スポーツ大会に向け、選手のための学校訪問

【2 生涯スポーツ振興事業】

①障害者スポーツクラブ補助事業
11クラブに対し補助を実施
②選手発掘・すそ野拡大のための学校訪問
アドバイザーが学校を訪問し、将来にむけた選手発掘や障害者スポーツ

【3 競技スポーツ振興事業】

①競技別チャレンジスポーツ教室
2025年の滋賀大会に向けてジュニア層や中途障害者の選手発掘・育成や指導者の資質向上を図った。
競技別参加者
水泳8、卓球7、ボウリング8 計23人

第61回滋賀県障害者スポーツ大会実績

(スポーツフェスタ)

Table with 4 columns: 競技名, 開催日時, 会場, 参加申込者数. Rows include 陸上競技, フライングディスク, ポッチャ, 卓球, and a total for スポーツフェスタ合計.

(全国大会選考会)

Table with 4 columns: 競技名, 開催日時, 会場, 参加申込者数. Rows include various sports like ポッチャ, 陸上競技, フライングディスク, ボウリング, 水泳, アーチERY, バレーボール, バスケットボール, サッカー, ソフトボール, 卓球, and a total for 全国大会選考会合計.

【1 障害者スポーツアドバイザー設置】

障害者スポーツアドバイザーを2人設置し、スペシャリストの広場の運営および選手の発掘、障害者スポーツ普及のための学校訪問、相談支援を行った。

【2 生涯スポーツ振興事業】

①障害者スポーツクラブ補助事業
11クラブに対し補助を実施
②強化指定クラブ補助
2025年全国障害者スポーツ大会に向け、選手のための学校訪問

【3 競技スポーツ振興事業】

①競技別チャレンジスポーツ教室
2025年の滋賀大会に向けてジュニア層や中途障害者の選手発掘・育成や指導者の資質向上を図った。
競技別参加者
水泳8、卓球7、ボウリング8 計23人



昨年度の県大会(全国大会選考会・サッカー)の1コマ

のすそ野の拡大を目的とした情報収集や事業PRを行なった。

訪問校数
小学校12校、中学校9校、特別支援学校6校 計27校

③アスリート等への大会遠征費補助
4クラブ、1個人に対し補助を実施

④障害者スポーツ指導者(公財)日本障がい者スポーツ協会公認の初級指導員養成講習会を開催し、資格取得を進めた。修了者数36人

2024 スペシャルスポーツの広場



5月11日 東近江会場(布引体育館)

今年度も5月から令和7年3月にかけて、東近江・高島・長浜・彦根・栗東・大津の県内6地区で、「スペシャルスポーツの広場」を開催しております。

この事業は昭和57年から約40年の長きにわたり、年1回長浜ドーム等で行っていた知的障害者の運動会「スペシャルスポーツカーニバル」に代わり、令和3年度より県大会の一環として開催しているものです。年1回1会場で行っている

たスペシャルスポーツカーニバルでは参加機会が限られておりましたが、複数地区で複数回開催することで身近な場所でも気軽に参加できる事業となり、毎年多くの参加者を集めており、障害者スポーツのすそ野拡大につながる事業としての役割を確実に果たしているところではあります。

今年度は昨年度の5地区開催から1地区増えて6地区での開催となり、合計12回の回数は変わらないもの



11月30日 高島会場(安曇川総合体育館)

の、地理的にさらに参加しやすい環境となり例年以上に多くの参加者が会場に足を運んで頂いております。

近年、この事業もコロナウイルスによる中止や参加自粛などに悩まされましたが、それらも過去のものとなり、既にコロナ以前の状態を上回る賑やかなイベントとして各日程とも多くの参加者があり、200名を超える参加者の会場もあるなど、今や従来の大会以上に賑やかな事業となっております。

このような流れの中で、11月2日には自主開催の形で米原市がスポーツ広場を開催されるなど、障害者スポーツのエンタリーイベントとして、大きな広がりを見せております。

県大会とは異なり、参加者と運営者という関係にこだわらず、プラススポーツパートナーや地域のスポーツ推進委員等と一緒にスポーツを楽しんで頂いており、どの会場も和やかな雰囲気の中で開催しております。

障害者がスポーツに親しむきっかけとして、気軽に参加できる内容で取り組んでおりますので、今後も多くの皆さんの参加をお待ちしております。

令和6年度 スペシャルスポーツの広場 実績・予定

地域	開催日	会場	参加人数 (本人・介助者等)	備考
東近江市	5月11日	布引体育館	151	
	6月22日	〃	215	
高島市	6月1日	安曇川総合体育館	96	
	11月30日	〃	80	
長浜市	6月29日	長浜伊香ツインアリーナ	92	
	8月10日	〃	109	

地域	開催日	会場	参加人数 (本人・介助者等)	備考
彦根市	8月31日	プロシードアリーナ	中止	台風接近の影響
	11月9日	〃	183	
栗東市	12月21日	栗東市民体育館	募集中	
	2月1日	〃	〃	
大津市	1月11日	ウカルちゃんアリーナ	募集中	
	3月1日	〃	〃	

令和5年度(一社)滋賀県障害者スポーツ協会 決算

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	124	99	25
特定資産運用益			
特定資産受取利息	160	140	20
受取会費			
正会員受取会費	528,000	542,000	△ 14,000
賛助会員受取会費	2,154,000	1,802,000	352,000
クラブ会費	55,000	55,000	0
受取会費計	2,737,000	2,399,000	338,000
事業収益			
委託金	26,846,149	22,952,955	3,893,194
交付金	9,434,000	9,328,000	106,000
事業収益計	36,280,149	32,280,955	3,999,194
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	30,955,962	28,737,946	2,218,016
受取民間補助金	0	101,786	△ 101,786
受取民間助成金	0	2,568,000	△ 2,568,000
受取補助金等計	30,955,962	31,407,732	△ 451,770
受取寄付金			
受取寄付金	0	100,000	△ 100,000
雑収益			
参加料収益	1,000	1,000	0
雑収益	9,900	261,040	△ 251,140
雑収益計	10,900	262,040	△ 251,140
経常収益計	69,984,295	66,449,966	3,534,329
(2) 経常費用			
事業費			
給与等	4,080,000	4,043,043	36,957
職員手当	1,131,410	815,967	315,443
共済費	870,417	820,626	49,791
報償費	2,371,613	2,025,615	345,998
旅費	10,347,712	13,015,150	△ 2,667,438
食糧費	410,490	817,027	△ 406,537
その他需用費	3,535,381	4,158,187	△ 622,806
その他役務費	1,995,505	2,392,281	△ 396,776
使用料及び賃借料	2,245,859	2,578,503	△ 332,644
公課費	1,108,200	34,200	1,074,000
支払負担金	6,937,204	102,000	6,835,204
支払助成金	1,233,340	1,497,210	△ 263,870
事業費計	36,267,131	32,299,809	3,967,322
管理費			
給料等	16,220,257	15,898,759	321,498
職員手当	7,440,882	6,002,198	1,438,684
共済費	3,772,468	3,485,546	286,922
報償費	482,835	389,101	93,734
旅費	519,060	596,560	△ 77,500
減価償却費	956,347	404,597	551,750
備品購入費	0	364,690	△ 364,690
食糧費	28,977	19,995	8,982
その他需用費	1,166,028	557,609	608,419
その他役務費	2,360,584	2,209,083	151,501
使用料及び賃借料	1,192,507	1,106,995	85,512
公課費	242,200	169,500	72,700
負担金	13,500	3,500	10,000
管理費計	34,395,645	31,208,133	3,187,512
経常費用計	70,662,776	63,507,942	7,154,834
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 678,481	2,942,024	△ 3,620,505
当期経常増減額	△ 678,481	2,942,024	△ 3,620,505
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
災害損失			
固定資産除却損	2	0	2
その他の経常外費用			
過年度修正損	△ 57,083	57,083	△ 114,166
経常外費用計	△ 57,081	57,083	△ 114,164
当期経常外増減額	57,081	△ 57,083	114,164
税引前当期一般正味財産増減額	△ 621,400	2,884,941	△ 3,506,341
当期一般正味財産増減額	△ 621,400	2,884,941	△ 3,506,341
一般正味財産期首残高	10,373,559	7,488,618	2,884,941
一般正味財産期末残高	9,752,159	10,373,559	△ 621,400
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
基金受入額	0	0	0
基金返還額	0	0	0
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	9,752,159	10,373,559	△ 621,400

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表の表。科目、当年度、前年度、増減の欄あり。I 資産の部、II 負債の部、III 正味財産の部に分かれている。

個人競技
「スポーツフェスタ」
6月から8月にかけて、陸上競技、フライングディスク、ボッチャ、卓球の4競技を開催し、昨年を6人以上上回る参加申し込みがありました。

兼 全国大会選考会
9月から11月にかけて、ボッチャ、フライングディスク、陸上競技、水泳、アーチェリー、ボウリング、卓球の7競技を開催しました。

第62回 滋賀県障害者スポーツ大会



兼 全国大会選考会 (水泳競技:10月5日)

第62回滋賀県障害者スポーツ大会(個人競技)結果

大会結果の表。競技名、開催日、会場、参加申込数、備考の欄あり。スポーツフェスタと兼 全国大会選考会に分かれている。

県大会は競技大会である「兼全国大会選考会」とスポーツを楽しむ方の「スポーツフェスタ」の2部構成となっております。今年度から団体競技のバスケットボールはスポーツフェスタの部となり、新たな歩み始めることになりました。

団体競技
「兼全国大会選考会および「スポーツフェスタ」
11月2日(土)・16日(土)・17日(日)の3日間に亘り、団体競技の県大会を開催しました。各競技の結果は次ページ表の通りとなります。

県大会(団体競技)成績・結果

◎全国大会選考会

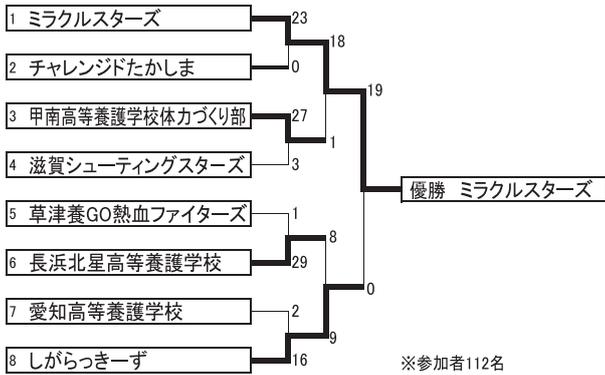
○精神障害者バレーボール競技 11月2日(土) 県立障害者福祉センター



○知的障害者サッカー競技 11月17日(日) 野洲川歴史公園サッカー場



○知的障害者ソフトボール競技 11月17日(日) 守山市民運動公園



◎スポーツフェスタ

○知的障害者バスケットボール競技 11月16日(土) ウカルちゃんアリーナ
(男子) 参加チーム ※8チーム 66名
①RATEL ②スペシャルオリンピックス湖東A ③北星男子
④SMILE FACE ⑤愛知高等養護学校 ⑥スペシャルオリンピックス湖東B
⑦北大津養護学校 ⑧Retrys(リトライズ)
(女子) 参加チーム ※3チーム 21名
①SMILE FACE ②ラリーガールズ ③北西女子
バスケットボール教室 ※参加者14名(試合と教室を合わせた参加者は101名)



表彰式の1コマ(9月29日 平和堂HATOスタジアム)

令和6年度会長表彰

9月29日(日)、県大会(選考会・陸上競技)の開会式に併せて令和6年度会長表彰を行いました。栄えある受賞者の皆さんは次の通りです。(敬称略・順不同)

▼障害者スポーツ功労賞

- 協会役員・指導員、障害者団体役員として貢献した者
○林 義夫(近江八幡市)
○小澤 智美(大津市)
○熊田 繁(東近江市)
▼優秀指導者賞
協会指導員として貢献した者。
○森 一紘(守山市)
○西垣 蘭香(甲賀市)
○中西 健治(大津市)
○田中 康雄(東近江市)

新規賛助会員

当協会の趣旨をご理解頂き、今年度新規に賛助会員としてご登録頂いた、団体・個人は次の通りです。(順不同・敬称略)

□団体会員

- 奥伊吹観光(株)
木村電工(株)
(株)アサヒテック
コーポレーション
(株)清水合金製作所
高畑産業(株)
藤野商事(株)
シンコーメタリコン(株)
(株)ジョーニシ
(株)清水商会
サイチ工業(株)
ツカサ産業(株)
甲西陸運(株)
根古屋産業(株)
(株)スマイディア
(株)和晃
(株)金山精機製作所
(株)田中誠文堂
長岡産業(株)
(株)イシダ滋賀事業所
(株)寺嶋製作所
奥村管工(株)
(株)湯元館
(株)ディーアクト
東海電工(株)
行田電線(株) 草津工場
トクデン(株) マキノ工場
(株)レイマック
(有)ウエスト

●近畿予選結果●



精障バレーボール (6月15日 草津市総合体育館)

第23回全国大会(団体競技)の出場を目指し、滋賀県が参加した近畿予選の結果は次の通りです。
○車いすバスケットボール 1回戦敗退

- グランドソフトボール 優勝(全国大会出場)
○聴障バレーボール 男子 1回戦敗退 女子 1回戦敗退
○知障サッカー 準優勝
○知障ソフトボール 1回戦敗退
○知障バスケットボール 男子 準優勝 女子 準優勝
○知障フットソフトボール 1回戦敗退
○知障バレーボール 男子 リーグ敗退(0勝) 女子 リーグ敗退(0勝)
○精障バレーボール ベスト4(準決勝敗退)

※賛助会員一覧は協会ホームページに掲載しています。

事務局だより

○古切手等回収協力者

- 大津市 田淵千恵子
近江八幡市 毛尾 世ら
守山市 大森 治
栗東市 松岡 哲士
野洲市 高木正二郎
(株)今井工業
(順不同・敬称略)

編集後記

○時の流れは速いもので気が付けば12月。
すでに県大会の全競技と全国大会(佐賀大会)関連の強化・派遣事業は全て終了し、来年度の準備にかかる毎日となっております。
公私忙しい中、参加者・協力者として、当協会事業に積極的に足を運んで頂いた皆様に対し、深くお礼を申したいと思います。
○令和7年には、皆様お待ち続けていた、第24回全国障害者スポーツ大会(わたしが輝く障スポ)がいよいよ開催されます。
昭和56年のびわこ大会以来44年ぶりとなる、障害者スポーツの祭典に対し、皆様の一層の協力・参加・応援をお願いします。(A・Y)